

放射線科画像診断報告書

(診療情報提供書)

患者ID	■■■■■■■■■■	検査	CT	4階
NAME	■■■■■■■■■■	依頼医	院内 耳鼻咽喉科 ■■■■■■ 先生	
年齢	69Y	放射線科		
性別	M	備考	住所・電話番号・診断名	
検査日	2010年08月06日		紹介目的・既往歴・家族歴	

<臨床情報>

左中咽頭癌(左奥舌mass)にて精査中
局所、頸部、肺野についての御依頼

<画像所見>

頸部胸部CT

左頸部郭清後です。

舌左側は脂肪変性して認められ除神経後の所見後と考えます。左中咽頭に20×26mm大の造影効果が認められ腹側に連続しています。指摘されている中咽頭癌の所見と考えます。アーチファクトのため評価が難しくなっていますが造影効果は左下顎骨内側面まで連続していると考えます。PET/MRIの所見も加味して下さい。

甲状腺右葉に多発する造影不良領域が認められています。超音波の所見も加味して下さい。

右上頸部リンパ節に多発する腫大が認められています。サイズは15から20mm大に認められ有意な大きさと考えます。触診所見加味して精査にはPET施行して下さい。

左右肺野の透過性の減弱が認められ肺野の脈管に拡張が認められています。慢性の心負荷と肺鬱血を疑います。心機能加味して下さい。

右肺尖部背側に直径7mm大の淡い濃度上昇の所見が認められますがサイズから質的判断が難しいと考えます。その他肺野末梢にも多発する微細な粒状影が認められています。瘢痕/肉芽腫を疑いますがサイズについてフォローアップして下さい。

縦隔リンパ節に病的な腫大の所見は明らかではありません。

食道に明瞭な病変の所見は明らかではありません。

胆嚢壁は瀰漫性に厚く胆嚢腺筋症を疑います。超音波の所見も加味して下さい。

<Impression>

左頸部郭清後で舌左側脂肪変性を呈しています。過去の手術歴について既往御確認下さい。

左中咽頭に明瞭な造影領域が認められ内腔に分葉状の隆起を呈しています。中咽頭癌を疑わせる所見と考えます。所見は腹側に連続して認められ下顎骨左内側面に達していると考えます。MRIの所見も加味して下さい。

甲状腺右葉に多発する造影不良領域が認められています。超音波の所見も加味して下さい。

右上顎部リンパ節に多発する腫大が認められています。サイズは15から20mm大に認められ有意な大きさと考えます。触診の所見加味して精査にはPET施行して下さい。

左右肺野に微細な粒状影が認められますがサイズから質的判断が難しい印象です。経時的変化フォローアップとして下さい。

別紙の参照画像をご覧下さい。

読影医: 土本 正 印 報告日: 2010/8/9

患者ID



検査日 2010年08月06日

4階

患者名

依頼医 院内 耳鼻咽喉科 [Redacted] 先生

NAME

備考

年齢 69Y

性別 M

検査 CT

参照画像

